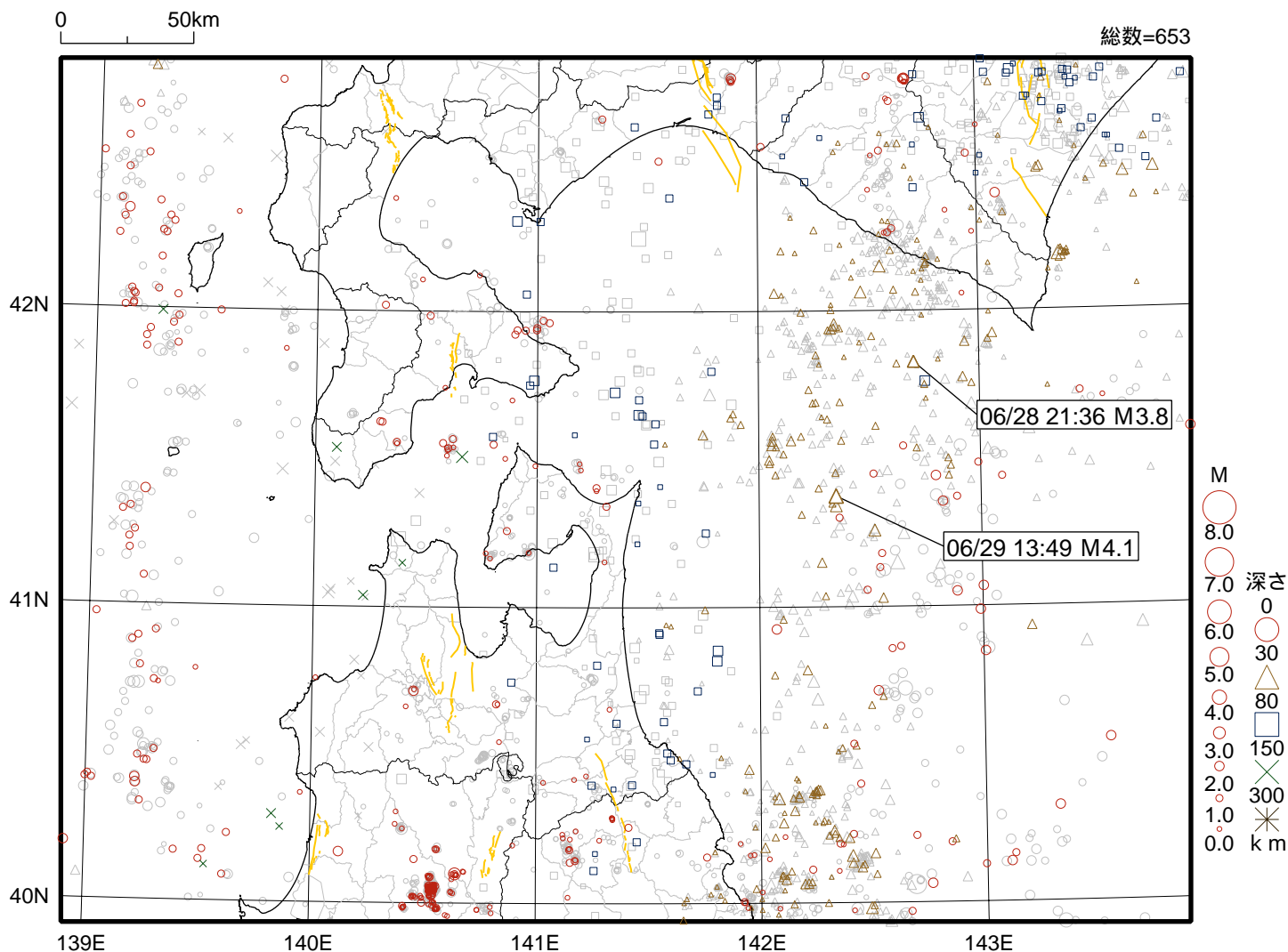


渡島・檜山地方の地震活動図

2018年6月1日～2018年6月30日

震央分布図

函館地方気象台



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。

記号Mはマグニチュードを表します。

図中橙色の線は地震調査研究推進本部による主要活断層を表します。

過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月(今期間を含まない)の震央を灰色のシンボルで表します。

地震概況(2018年6月)

この期間、渡島・檜山地方の震度観測点で震度1以上を観測した地震は2回(前月は4回)発生しました(「震度1以上を観測した地震の表」参照)。

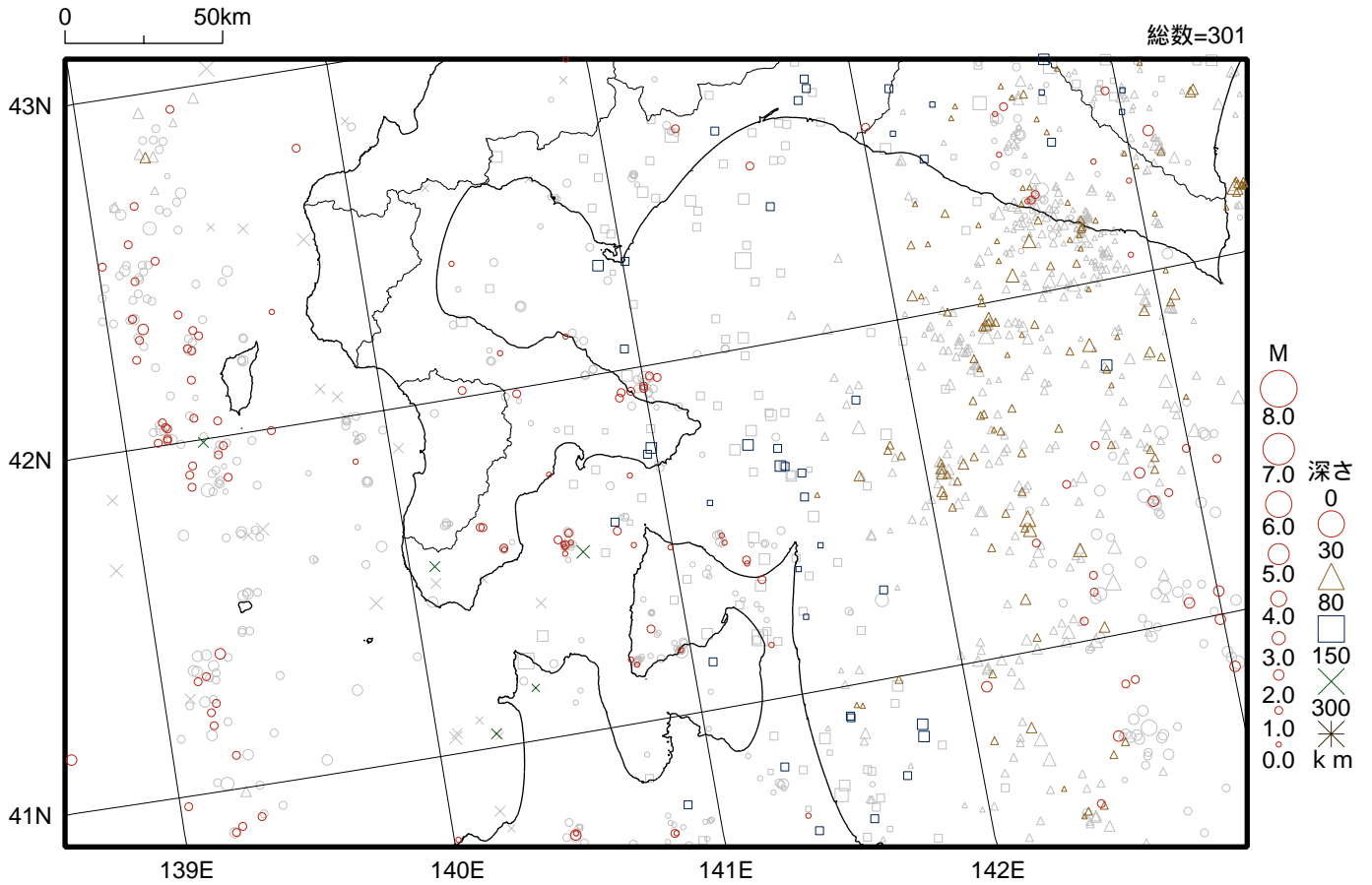
28日21時36分、浦河沖の地震(M3.8、深さ53km)により、函館市泊町で震度1を観測しました。

29日13時49分、青森県東方沖の地震(M4.1、深さ39km)により、函館市泊町で震度1を観測しました。

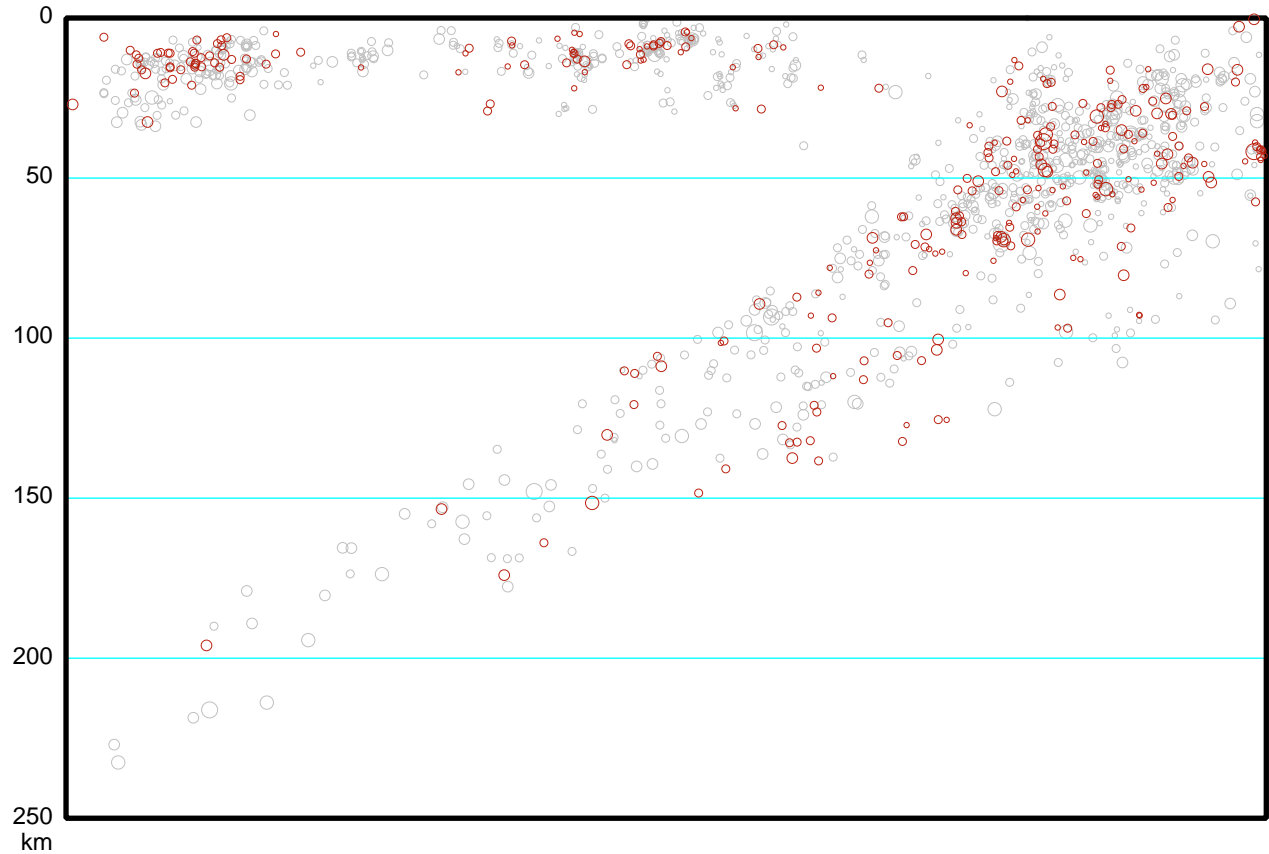
この活動図は、函館地方気象台のホームページに掲載しておりますのでご利用ください。
ホームページのアドレスは、「<https://www.jma-net.go.jp/hakodate-c/>」です。

2018年6月1日 ~ 2018年6月30日

震央分布図



断面図



これは暫定値であり、データは後日変更することがあります。
記号Mはマグニチュードを表します。
過去の地震活動と比較するため、前3ヶ月（今期間を含まない）の震央を灰色のシンボルで表します。

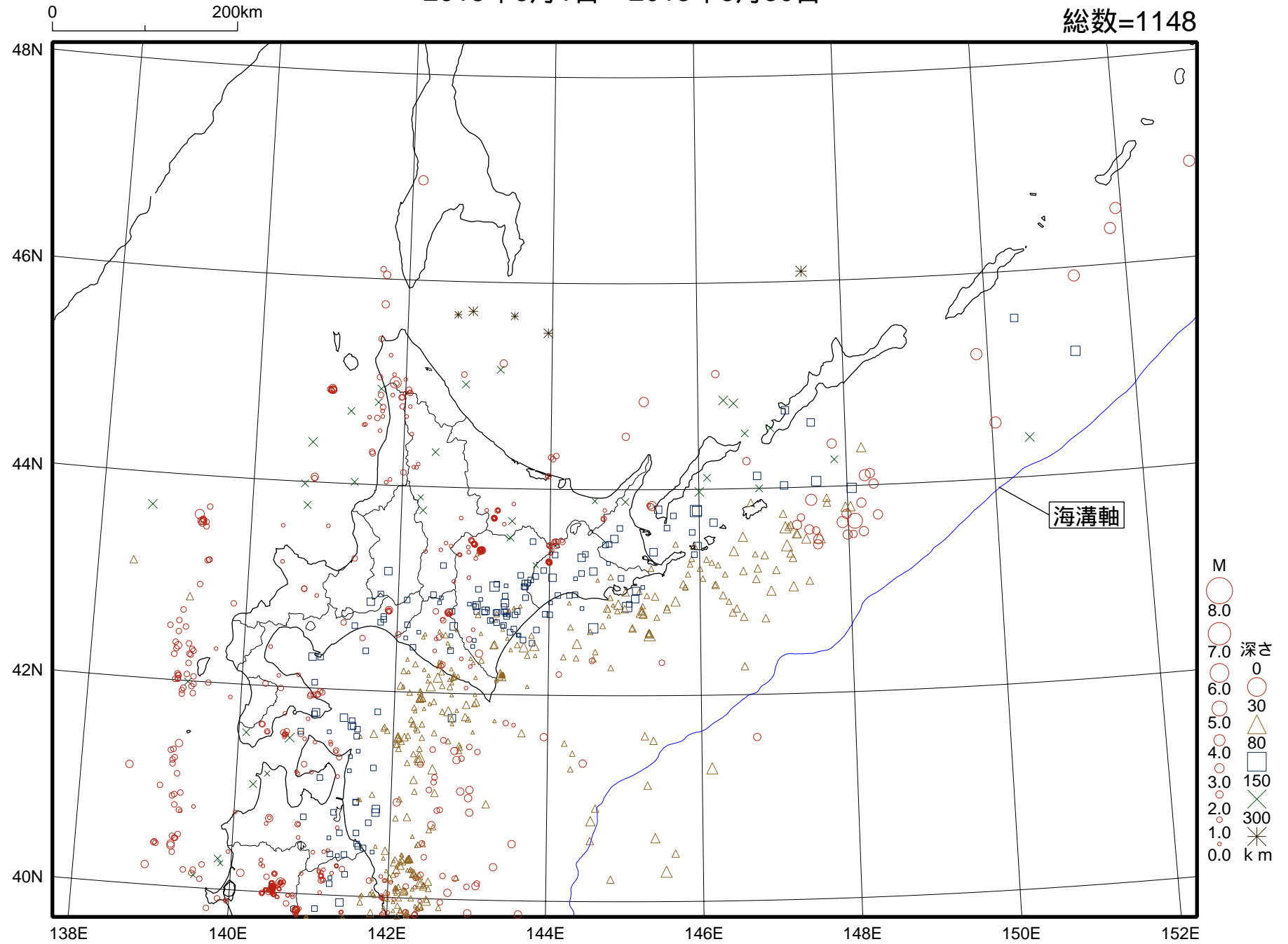
北海道の地震活動図

2018年6月1日 ~ 2018年6月30日

札幌管区気象台

総数=1148

震央分布図



震度 1 以上を観測した地震の表 (2018年6月)

年 月 日 地方	時 分 震度	震央地名 震度観測点名	北緯 (N)	東経 (E)	深さ (k m)	規模 (M)
2018年 6月28日 渡島地方	21時36分 震度 1	浦河沖 函館市泊町 * (07)	41 ° 49.5 N	142 ° 42.2 E	53 k m	M3.8
2018年 6月29日 渡島地方	13時49分 震度 1	青森県東方沖 函館市泊町 * (09)	41 ° 22.4 N	142 ° 20.8 E	39 k m	M4.1

各地の震度は、渡島・檜山地方のみを掲載しています。

* のついている地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

セントロイドの深さで表現した地震が含まれている場合があります。

震源の緯度、経度、深さ、規模は暫定値であり、データは後日変更することがあります。

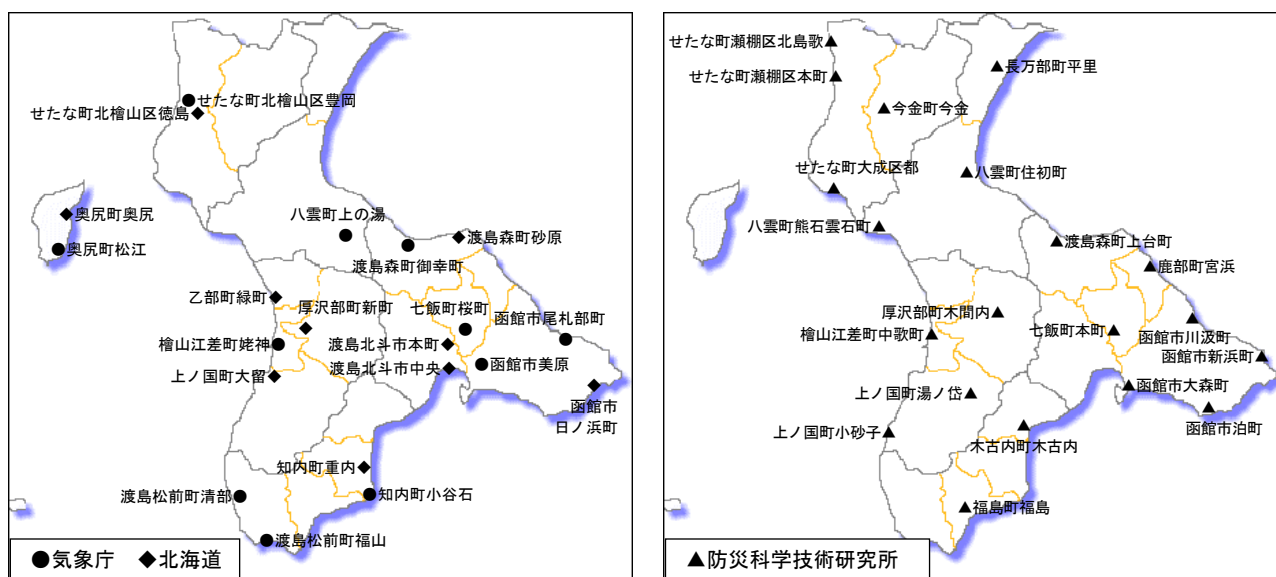
()内の数値は0.1単位の詳細な震度(計測震度)の小数点を省略して表しています。

計測震度と震度階級の対応は下表のとおりになっています。

計測震度と震度階級の関係

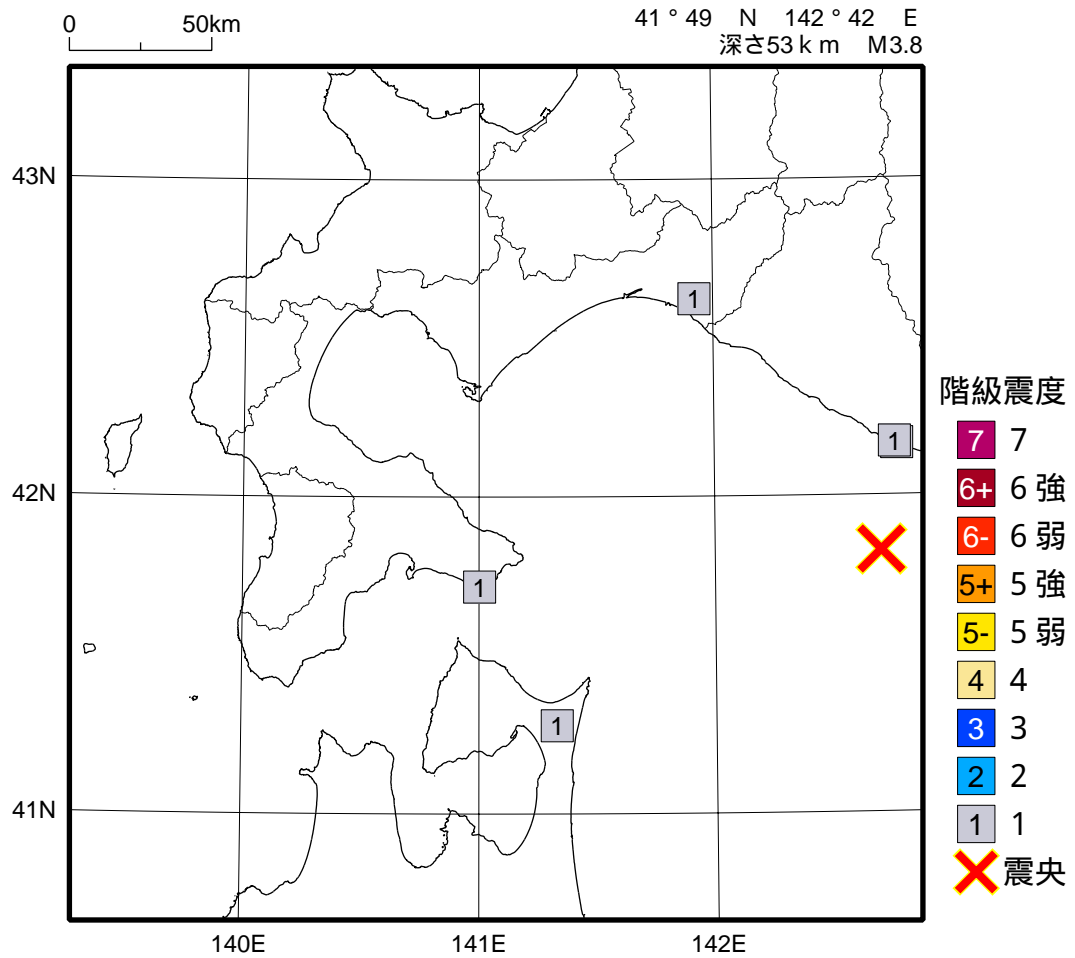
計測震度	~0.4	0.5~1.4	1.5~2.4	2.5~3.4	3.5~4.4	4.5~4.9	5.0~5.4	5.5~5.9	6.0~6.4	6.5~
震度階級	0	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

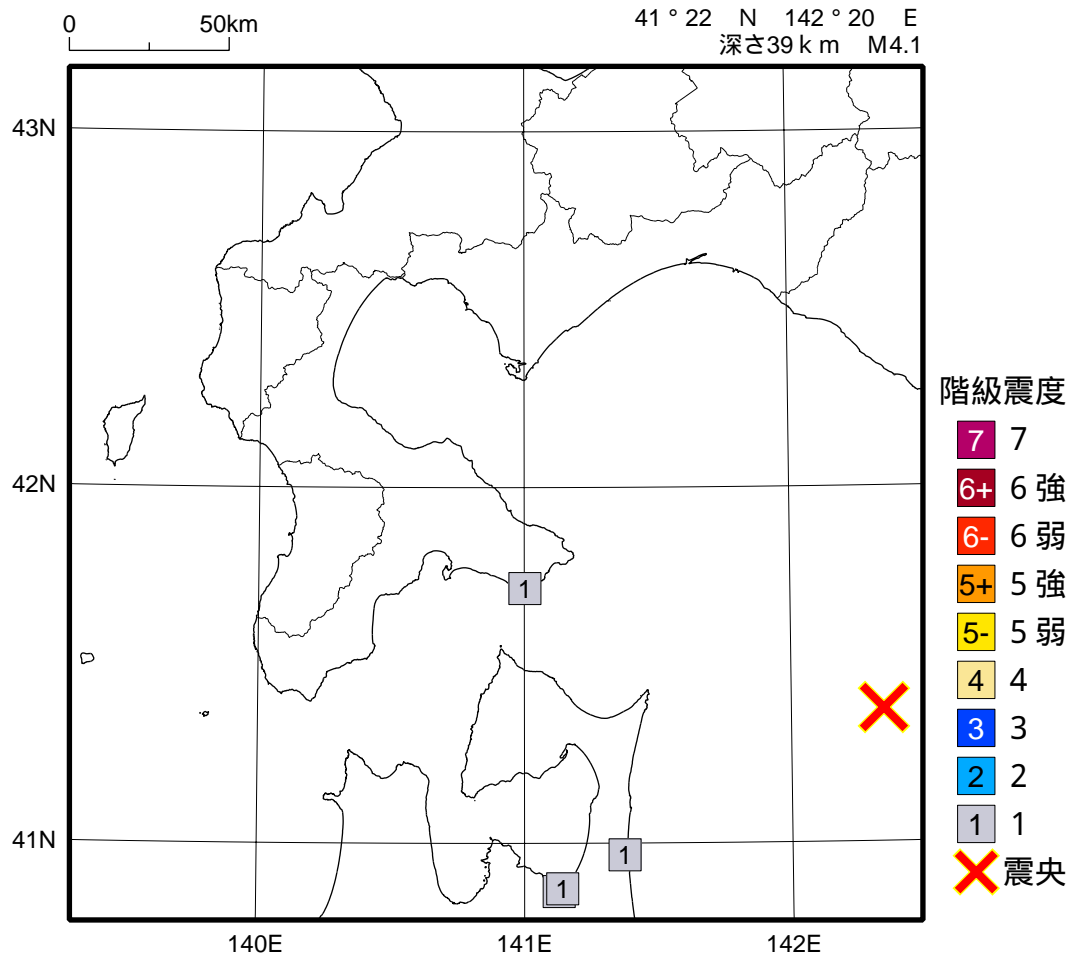


渡島・檜山地方の震度観測点配置図

2018年 6月28日21時36分 浦河沖の地震の震度分布図



2018年 6月29日13時49分 青森県東方沖の地震の震度分布図



【防災メモ】

～大津波警報・津波警報・津波注意報～

気象庁は、地震が発生した時は地震の規模や位置を速やかに推定し、これらをもとに沿岸で予想される津波の高さを求め、地震が発生してから約3分を目標に、大津波警報、津波警報又は津波注意報（以下これらを「津波警報等」という。）を津波予報区単位（図1）で発表します。

1. 津波警報等の発表

予想される津波の高さは、通常は5段階の数値で発表します（図2）。ただし、地震の規模がマグニチュード8を超えるような巨大地震に対しては、精度の良い地震の規模をすぐに求めることができないため、最初に発表する大津波警報や津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」という言葉を用いて発表し、非常事態であることを伝えます。予想される津波の高さを「巨大」などの言葉で発表した場合には、その後、地震の規模が精度良く求められた時点で津波警報等を更新し、予想される津波の高さを数値で発表します。



図1 北海道沿岸の津波予報区

予想される津波の高さ		とるべき行動
数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現	
10m 超 (10m < 高さ)	巨大	<p>沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。</p> <p>津波は繰り返し襲ってくるので、大津波・津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。</p> <p>ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！</p>
10m (5m < 高さ ≤ 10m)		
5m (3m < 高さ ≤ 5m)		
3m (1m < 高さ ≤ 3m)	高い	<p>海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。</p> <p>津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。</p>
1m (20cm ≤ 高さ ≤ 1m)	(表記しない)	

※大津波警報を特別警報に位置づけている

図2 津波警報等ととるべき行動

2. 津波警報等について

- 津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。直ちにできる限りの避難をしましょう。
- 沿岸に近い海域で大きな地震が発生した場合、津波警報等の発表が津波の襲来に間に合わない場合がありますので、沿岸で揺れを感じたらすぐに高台等の安全な場所へ避難しましょう。
- 津波警報等は、精査した地震の規模や実際に観測した津波の高さをもとに、更新する場合がありますので、携帯電話やスマートフォン、ラジオ等で最新の情報を入手しましょう。
- 津波による災害のおそれなくなったと認められる場合、津波警報等の解除を行います。津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報が解除されるまでは、避難を続けましょう。